



市川市立第二中学校

# 同窓会会報 News Letter

復刊第1号 平成10年10月31日発行

市川市立第二中学校  
同窓会

〒272-0825  
市川市須和田2-34-1  
市川二中内  
編集 広報委員会  
編集責任者 山田尚美  
E-mail:  
suwada@endeavor.to

# 市川市立第二中学校同窓会

## 会報第一号

### 同窓会会報

#### 復刊に寄せて

二中同窓会会長

桑村 益夫



復刊に寄せて」としましたのは、同窓会が誕生して4年目の昭和30年に『同窓会会報・創刊号』編集責任者・山本洋之氏（1期）が発刊されていますので、その編集委員の一人としてこだわったことをお許し頂きたいと存じます。

この創刊号に、「一枚の葉書から」と題する私の文章が掲載されており、稚拙な内容でお恥ずかしい限りですが、同窓会創立の経緯にも触れていますので、その一部をここに転載させていただきます。

・・・今から4年程前の或る初夏の日、須和田ヶ丘の忠霊塔の石段に人待ち顔で腰を下ろしているチビ高校生がいたんです。ボクは眼下に拡がった母校の姿を懐かしげに眺めていました。今の二中よりはもっとお粗末で、所々に汚い旧兵舎が横たわっていました。

ボクは二中を同期で卒業した山本君から一枚の葉書を受取り、彼に会うためにここに来たんです。（中略）詳しい文面は忘れましたが、「卒業してもう2年目だ。我々の手で二中の同窓会を作ろう」というものでした。...

このあと拙文は、同窓会設立の諸準備、第一回総会の状況、その後毎年開催された総会をどの様にして盛り上げるかアトラクション等、企画に苦勞した様子、鹿倉先生に絶大なご援助を頂いたこと等に触れております。同窓会の役員が多大なエネルギーを費やす割りには、会員の関心がいまひとつ高まらないという悩みも訴えています。

この拙文を書いてからは40数年の歳月が過ぎ、我々第一期生は疾うに還暦を迎えてしまいました。この間に社会情勢は大きく変化し、物事に對する考え方や、価値観も世代によってさまざまです。

「二中での3年間は、受験勉強に追われたり、よい思い出はなく、母校にも関心がな」とか、「名簿を発行すると悪用する人にプライバシーを侵害されかねない」等々のネガティブな意見も少なくありません。

しかしながら、同窓会活動を継続して行くことで卒業生、旧教職員、学校、PTA、ひいては地域社会との世代を超えた（次頁下から二段目に続く）

『市川二中五十年史』編集委員長・山田齊氏（1期）始め、編集委員各位の長期間に亘る献身的なご努力により、昨年11月の市川二中創立50周年を期して、『市川二中五十年史』が刊行され、約一千名の同窓生、旧教職員、PTA関係者、在校生の方々に購入頂きました。その編集や配布に伴う名簿の整備等の作業を通じて復活した同窓生どうしや学校との絆を、より確かな且つ永続性のあるものにしたなどの機運が盛り上がり、長らく休眠状態にあった「市川二中同窓会」が、昨年11月1日の臨時総会において同窓生有志の賛同を得て再発足致しました。

「市川二中同窓会」は、第一期生が高校二年生であった昭和26年に、鹿倉先生の熱心なご指導の下に発足し約10年間程活動を続けましたが、発

足当時の役員が進学や就職で多忙になるにつれて衰退し休眠のやむなきに至りました。初代同窓会長をつとめた私は、当時の同窓会活動が衰退してしまつたことに大いに責任を感じると共に、いつの日にか活動を再開したいという母校への熱い思いを、その後の40年近い年月の間抱き続けて参りました。

再発足にあたり、因らずも再び同窓会長という重責を担うことになりましたが、会員各位並びに学校当局のご支援を仰ぎ、いまや一万五千名を超える同窓生および旧教職員の方々との交流を推進する母体である「市川二中同窓会」を、役員各位のご協力の下に運営して参りたく存じますので、宜しくご支援下さいますようお願い申し上げます。

表題をあえて「同窓会会報

# 同窓会二の絆再び

二中学校長  
中山 廣璋



緑豊かな須和ヶ丘の高山に位置する伝統校に着任し三年目を迎えています。

昨年は創立50周年という大きな節目に巡り合い、子どもや教職員共々、大変貴重な体験をさせていただきました。開校以来の軌跡を綴った後世に残る『市川二中五十年史』の刊行を始め、記念誌の編纂と平行して検討されてきた同窓会再発足の経緯、そして、卒業式における同窓会長さんの祝辞などを通して、在校生は今日の校風や伝統が多くの先輩の方々が築いて来た歴史の流れの蓄積であり、大切な学校の文化遺産であること、また、生涯にわたって母校や郷土を誇りに思えるような、そんな豊かな校風を創造する意欲を醸成することができたものと確信しています。これも、母校を愛する卒業生や関係者各位のご尽力の賜物であり、50周年記念の諸事業の成功とあわせ、私も

ます。幸い学校は落ち着いた環境とPTAや地域の方々との理解と協力を背景に、子どもたちは大変明るく、のびのび、正義感に満ちた雰囲気の中で、勉学やスポーツ、部活動や生徒会活動に実績をあげています。しかし、一方、子どもたちは家庭や地域社会での人間関係が大変希薄であったり、社会体験や生活体験に乏しい未熟な側面もあります。そこで学校は多くの友だちとふれあい、認め合い、励まし合う様々な体験活動を活性化し、一人ひとりが主体的に考え、判断し、行動できることも育成に心掛けています。この生きる力の育成は学校だけでは十分ではなく、家庭や地域の教育力と総合的に機能することで培われるものと。

在校生や若い卒業生には、まだ同窓会の意義や必要性は十分理解できないかも知れませんが、子どもたちの生活世界が小さくなっていく今、同じ学校の先輩という絆で結ばれた同窓会の存在は何かと心強く、故郷に似た心の安らぎを感じるものです。同窓会活動の再開を機に、今後の活動が益々充実発展することを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

加瀬昌洋 環境に恵まれたキャンパスを4年間楽しんだ数学を生徒と一緒に勉強しました。

小林義直 昭和35年以降、平成2年まで静岡県立の5高校に勤務、定年退職し、引き続き浜松短大にて専任5年、非常勤2年、目下、磐田市にある静岡産業大学で非常勤講師(時事英語担当)をしております。

櫻井慶治 日展評議員、審査員をして出られます。当日、日展総会にて出られます。5月24日を満79歳です。

千葉若胤、正子 『市川二中五十年史』は立派な出来上がりでした。

星野 昭 教員を定年退職して、現在、市川地区防犯協会の仕事をしています。

香木良子 平成2年、二中を去ってより8年間高谷中に勤務しておりましたが、本年第三中学校に転勤し頑張っております。

浜田龍二 大阪裁裁より更生管財人に選任され、会社再建の仕事で適当に多忙な日を送っております。

西村行雄 腰椎骨折のため歩行が不自由ですので欠席いたします。

交流が保たれ、卒業してからも学校教育に留まらない恩師のご指導を仰ぐことができ、加えて先輩卒業生の社会的経験が在校生を含めた後輩の参考となり、よい影響をもたらすことも期待できるのでないでしょうか。

一方、旧教職員、学校当局の方々にとっても、教員達の行く末を見守る絆を保つことができると思っています。同窓会活動を通して継続的な相互の交流が保たれてこそ、初めて、市川二中の良き伝統が築き上げられ、その伝統が次世代の目標となり、地域社会にも貢献できる立派な市川二中に成長して行くことができるのだと確信いたします。

昨年11月の創立50周年記念式典では、来賓として出席された市川市教育委員長・長谷川千代氏から、『市川二中五十年史』は市川市の教育史ともいえる立派なもの、この称賛を頂きましたが、この母校の輝かしい歩みを知って頂くために、一人でも多くの卒業生や旧教職員の方々が、『市川二中五十年史』を読んで欲しいものと念願しております。

同窓会活動に対する関心の度合いや考え方には年齢層によって大きな差があります。どの様に



昭和30年発行

## 二中ニュース

- 平成9年
  - 8月・テニス部京葉地区大会3位
  - 10月・野球部新人戦準優勝
  - 剣道部女子船橋近隣大会3位
  - 11月・創立50周年記念式典(15日)
  - 11月・剣道部女子新人大会準優勝
  - 市川市小音楽会
  - 12月・白百合学級校外学習
  - 市川市善行会表彰
  - (エコクラブ、自転車整理隊)

- 平成10年
  - 1月・カルタ大会(1、2年)
  - 3月・学年別球技大会
  - 予餞会(3日)
  - 卒業証書授与式(10日)
  - テニス部1年生大会準優勝
  - 剣道部女子錬形学園大会
  - 準優勝
  - 4月・入学式(8日)
  - 修学旅行(京都18、20日)
  - 剣道部女子春季交流大会優勝
  - 5月・サッカー部ジュニアユース選手権3位、県大会出場
  - テニス部春季大会優勝
  - 6月・体育祭(7日)
  - 7月・白百合学級合同宿泊学習
  - 野球部総合体育大会優勝
  - 県大会出場
  - サッカー部総合体育大会3位
  - テニス部総合体育大会優勝
  - 県大会出場
  - 剣道部女子総合体育大会優勝
  - 吹奏楽部県吹奏楽コンクール金賞
  - 9月・合唱コンクール(11日)
  - 生徒会役員選挙(17日)
  - 須和田祭(25、26日)



創立50周年記念式典・祝賀会(平成9年11月15日)

- 平成10年
  - 1月・カルタ大会(1、2年)
  - 3月・学年別球技大会
  - 予餞会(3日)
  - 卒業証書授与式(10日)
  - テニス部1年生大会準優勝
  - 剣道部女子錬形学園大会
  - 準優勝
  - 4月・入学式(8日)
  - 修学旅行(京都18、20日)
  - 剣道部女子春季交流大会優勝
  - 5月・サッカー部ジュニアユース選手権3位、県大会出場
  - テニス部春季大会優勝
  - 6月・体育祭(7日)
  - 7月・白百合学級合同宿泊学習
  - 野球部総合体育大会優勝
  - 県大会出場
  - サッカー部総合体育大会3位
  - テニス部総合体育大会優勝
  - 県大会出場
  - 剣道部女子総合体育大会優勝
  - 吹奏楽部県吹奏楽コンクール金賞
  - 9月・合唱コンクール(11日)
  - 生徒会役員選挙(17日)
  - 須和田祭(25、26日)

## 『市川二中五十年史』を手にして

鹿倉 操

第二中学校在職中は卒業生の方々には大変お世話になりました。定年退職後、私学で学校経営への協力の素晴らしい二中のよさを思い出しています。

伊藤喜之 国分小、市川小、大柏小等

『市川二中五十年史』は、多くの同窓生の人間関係の育成の輝きと、結果を内包した学校史である。本文の行間からは、この一冊に懸けた執筆者の気迫の漲りが伝わってくる。各頁は、原資料を織り込み、手記や談話が挿入されて、その内容を十二分に裏打ちしている。又、写真等の割りつけも心にいく程だ。各章の初めの時代の「概説」と、出来ごとを要約した、8ポイントの頭註は、市川

『市川二中五十年史』 二中の歩みと共に昭和・平成の歴史を重ね合わせることも出来た。もって特筆すべきことは、この一冊に結果された百余名の編集・名簿整備委員会の滾れるようなエネルギーである。そして、そのチームワークへの熱い思いである。それはどこから湧き出てきたのであろうか。同窓生が母校と呼ぶ学校は、小・中・高・大学とありながら、なぜ『市川二中』にこだわら、そこにど

## 恩師からのお便り

後妻内瀬ハガキから

皆さまからお祝い、励ましの言葉もいただきました。その部分は紙面の都合で割愛させていただきます。(敬称略) 50音順)

秋元茂樹

校長歴任。退職し、6年目を迎えている。以下の役職で元気に現役中。市川市体育協会会長、市川市バレーボール協会会長、三愛幼稚園園長等々。

上原(宗石) ひろ子 元音楽科教師。現在は主婦を主としながらピアノを教えております。

江澤 忠 相変わらずリハビリに励む日々で、残念ながら出席できません。

千葉若胤、正子 『市川二中五十年史』は立派な出来上がりでした。

星野 昭 教員を定年退職して、現在、市川地区防犯協会の仕事をしています。

香木良子 平成2年、二中を去ってより8年間高谷中に勤務しておりましたが、本年第三中学校に転勤し頑張っております。

西村行雄 腰椎骨折のため歩行が不自由ですので欠席いたします。

星野 昭 教員を定年退職して、現在、市川地区防犯協会の仕事をしています。

香木良子 平成2年、二中を去ってより8年間高谷中に勤務しておりましたが、本年第三中学校に転勤し頑張っております。

浜田龍二 大阪裁裁より更生管財人に選任され、会社再建の仕事で適当に多忙な日を送っております。

西村行雄 腰椎骨折のため歩行が不自由ですので欠席いたします。

表1 『五十年史』編集委員会関係 収支報告(平成8年8月~10年3月31日)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Sub-headers include 項目 (Item) and 金額 (Amount). Rows list items like 賛助金 (Donations), 卒業生 (Alumni), 教職員 (Faculty), and 在校生・PTA他 (Current students/PTA/Other).

\*編集委員会から同窓会への移管・賛助金残高 456,534円 『五十年史』残部 230部

『五十年史』編集委員長 山田 齊  
同窓会会計委員 豊川 章

監査の結果適正であることを認めます。 同窓会会計監査委員 佐橋 陽二

表2 平成10年度 同窓会予算案(平成10年4月1日~11年3月31日)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Sub-headers include 項目 (Item) and 金額 (Amount). Rows list items like 『五十年史』編集委員会から移管 (Transfer from 50th Anniversary Committee), 新会員入会金 (New member dues), 協賛金, その他 (Sponsorship, etc.).

\*印 総会関係、会報関係には通信費、発送費

同窓会役員名簿

Table listing the names and terms of the association's officers. Columns include 役員 (Officer), 任期 (Term), and 氏名 (Name). Rows list positions like 会長 (President), 副会長 (Vice President), 会計委員 (Accounting Committee), 会計監査委員 (Accounting Audit Committee), and 理事 (Council Members).

第1号議案  
(1) 9年度活動報告  
11月1日 臨時総会 再発足決定  
11月10日 『市川二中五十年史』  
発行 編集委員会  
11月15日 市川二中50周年記念式  
典、祝賀会 代表者出席  
3月10日 49期生卒業式・会長挨拶  
3月31日 『五十年史』編集委員会  
り賛助金残高、残部を移管  
(2) 『五十年史』編集委員会関係  
収支報告(平成8年8月~10年3月31日)  
表1参照

第2号議案  
(1) 10年度同窓会活動計画  
・新会員受入れ(49期) (1月1日)  
・平成10年度定期総会開催(5月16日)  
・『同窓会報』発行 (10月末)  
・名簿整備と組織づくり(既存名簿の  
データ化、各期役員の選出など)  
・学校行事参加  
(入学式、須和田祭、卒業式など)  
・財政基盤の確立  
(貯蓄会発願、『五十年史』頒布など)  
(2) 平成10年度同窓会予算案  
表2参照

同窓会からのお知らせ  
○同窓会の名称 『同窓会会報』の名称を募っております。アイデアをお寄せ下さい。  
○卒業生の住所確認(協力下さい)。知人、家族で「中卒の方」がいましたら、同窓会までご連絡下さい。分譲指(3期、内盛さま)  
○各期の評議員(2名)、連絡委員(各クラス2名)を引き受け下さる方を探しております。推薦も各役員までご連絡下さい。  
○クラス会、同期会の情報をお待ちしております。また、同窓会でクラス会、同期会の開催をお手伝いします。一度「相談」下さい。  
○『市川二中五十年史』はまだ余部があり、ご希望の方にはご連絡下さい。振込用紙をお送りします。  
また、八木健次氏(16期)の「好意で「八木書店」(ハス博)真駒園一丁目、天形書店(市川駅北口)で取り扱って頂けることになりました。両店で常時ご購入頂けます。頒布は何れも二千円。  
○同窓会への連絡手段は、上記役員名簿を参照して、お近くの役員に郵送、FAX、電話等へご連絡下さい。また、インターネット・メールへの連絡も可能です。  
○中二年内に本部があります。専任者をお任せ下さい。中一への電話でのお問い合わせは「事務局」です。E-mail: suwadendevor.tio

平成10年度 定期総会開催さる

須和田が丘は青葉の中



市川駅のポスター

さる5月16日(土)、2時から緑溢れる須和田が丘の母校、二中体育館で40数年ぶりの同窓会定期総会が開催されました。出席者は81名。恩師6名、卒業生71名(うち理事等15名)、学校から校長、教頭先生。PTAからも3名の参加を

頂きました。

同窓生全員(約一万五千名)への連絡がままならない状況で、ご案内対象者も限定された(主として『五十年史』賛助金協力者、49期新入会員、計約千五百名)にははまずまずの出足でした。



総会では内盛渉副会長(31期)の司会が開会、まず、桑村会長(1期)から昭和26年発足以来の経緯、同窓会の再発足とその意義、今後の協力依頼などについて挨拶が、次いで、中山校長先生から昨年の50周年記念行事(特に卒業生による『五十年史』の発行)、学校の現状、同窓会の意義、会の今後の発展などについて挨拶がなされました。千葉光行・市川市長からの祝電が披露され、出席の先生方、PTAおよび理事

の紹介があり、桑村会長の指名により深川保典理事(20期)が議長に就任しました。  
○総会議事(議案次員参照)  
第1号議案 平成9年度活動報告が桑村会長から、同決算報告が豊川章会計委員(3期)から、同監査報告が佐橋陽二会計監査委員(4期)から、報告され意義なく承認されました。  
第2号議案 再発足後初めての定期総会の開催、『同窓会会報』の発行、名簿整備の推進を三本柱とする平成10年度活動計画および予算案が山田尚美副会長(5期)から説明され、異議なく承認されました。  
定期総会議事は可決されました。

○懇親  
約20分の休憩があり、体育館後方にセッティングされたテーブルを囲み、飲み物、おつまみで出席

の方々の懇親、懇談に花が咲きました。  
○アトラクション  
①VTR「二中の足跡」  
在校生および生徒会が作成したVTRが佐藤雅秀先生の指導で放映され、学校の過去と現在の姿を鑑賞しました。  
このVTRは昨年50周年記念式典用に作成されましたが、『五十年史』が発行されたので作り直されました。  
②プラスバンド演奏  
立派な体格の鈴木宏先生(新卒)の指揮により県大会金賞などかくかくたる成績を誇る二中



在校生のプラスバンド演奏を楽しましました。



総会での在校生のプラスバンド演奏

クラス会だより

会員だより

☆小さな輪から大きな和に

2期E組 (谷川) 順子
二、三年ごとの先生を囲んだクラス会が十三名程の旅行会となり、泊りが二泊となり、来年度は五年目です。48年を経て中学時代に戻り男性群の心優しくさふれ思わず自分を振り返り、人の幸せを全員で喜んで、涙出しながら思いつき笑い、来年からはご夫婦での参加がとまで話がとび出したりして、それはそれはストレスなんか飛んでしまふ大きな和になった。二期生三ノE組です。

☆五期の仲間達

真清水会のこと

5期A組 本吉健也
光陰矢の如く、54年に卒業しておよそ半世紀近くの歳月が流れたが、五期の仲間が集まれば心はいつも青春時代となる。仲間の三村君が会報の復刊第一号で紹介したように、86年に第一回の同期会が開催されたが、その当時の幹事がこの集まりの母体となったようだ。私も幹事会に関西から出張を利用して毎同出席したものである。そ

して私が88年に東京転勤になって二十七年振りに戻ってきた時には、仲間達が歓迎会を開いてくれた。その中には二中の気象部の仲間(市川、中五十年史の七二頁を参照)や卒業後の山仲間も入り、男女十数名の集まりである。



真清水会 (5期)

年に一、二回程度の飲み会と時には泊りがけのゴルフを行う。お互いに卒業以来は異なった道を歩んできただけに、話をするだけでも実に楽しい。男達は会えばすぐに悪戯鬼の頃に話を花を咲かす。以来、今日に至るまでこの集まりは続いている。また「五十周年史賛助金の話を山田さんから相談を受けた時も、この仲間達を中心に幹事会を結成して第二期の五期同期会を97年春に行い、募金活動を大いにアピールしたものである。時は流れて、私も仲間の人気が今年三月に還暦で定年を迎え、新しい事業を始めるために再び関西へカムバックすることとなった。十数人の仲間達を祝う歓迎会を開いた。(写真)

☆同窓会役員になって

28期3組 安芸澄子

数年前のことである。ある日突然、電話がかかってきた。「市川二中期の桑村と申しますが。」

現同窓会会長からだった。創立50周年を期して五十年史が刊行されること、同窓会再発足に向けて名簿を整備するのに我々の期に手伝う人がいないこと等、いろいろの説明されて、結ぶことができる範囲でかまわないから、名前だけでも、ということ

役員だより

1期A組 山本洋之

いろいろのお話をかけています。有難くお礼申し上げます。昨年、40年間の会社勤めを終え、現在は保険代理店業を営んでいます。

2期F組 小口正彦
一昨年、サラリーマン生活から開放され、主夫業に専念中。全く気ままな毎日です。

3期B組 高野泰明
平成8年12月、満60才で、年退職。平9年10月より日本信販(株)東京管理課湖島センターに勤務しております。

この4月より町内会長の仕事を受けることになり、今年

役員だより

1期A組 山本洋之

度々の諸々の雑事に追われて、先約があり欠席致します。子育ての健康にて目下休業中です。皆さんにお会いできることを大変楽しみにしています。どうぞよろしく。

2期F組 小口正彦
市川市内から、一度も出ずいますので、須和田公園等の変わり方も今はなつかしく思われます。

3期B組 高野泰明
八千代中央病院にて経理の仕事をしております。

千葉人学で建築を教えるかわら事務所を主宰し建築の

何十年かぶり(？)に母校を訪れた。懐かしの坂を登りつめると、当時とほとんど変わらぬ校舎、校庭が見えてきた。

「ごんにはは！」と元気な挨拶が飛んできた。土曜日である。今日は登校日なのか、今時の在校生は礼儀正しいいな、などと感心しながら会議室へ向かう。すでにいらっしやっやと、方々は大先輩方である。開の方で小さくなっていただけで、まさに「いるだけ」の私だった。

同期の友人、知人達の消息を、当時の卒業アルバムを頼りに探っていくが、転居先も全くわからない人も多い。そんな中でたまに、昔話に花を咲かせる友人との出会いもある。ひとしきりおしゃべりした後、そういえば、あの人は今どこにいますか、といった場もある。クシの歯の欠けたような住所録が埋まるのは、一体いつのことになるのだろうか。

☆二中に「感謝」
50期4組 藤田寛徳
三年間の中学校義務教育を終えて、というより市川市立第二中学校を卒業しての今の心境、それは「感謝」です。熱心に生徒一人一人を教育し、見守って

くだった先生が、共に協力し合い、多くのいい思い出を作った友達、一中のすべてにごく感謝しています。

☆Q: 13期2組

堀(服部)宏子
前回の総会は友人からの誘いもありましたので参加させて頂いたのですが、少々遅れてきたのも名簿ではなく五十年史というの肩すかされた感じがいたしました。何もせず申し訳ないです。か、正直な感想です。

☆Q: 18期1組
井道(小西井)陽子
同窓生の住所録が作成されているのでしょうか？

☆Q: 31期10組
浦上(真島)映子
今、春日市民吹奏楽団に所属しています。プラスバンド関係の人と連絡をとってみたいのですが、なかなか。同窓会に、どんなメンバーが何名位集まったのか、などの報告があれば嬉しいのですが。

☆Q: 21期7組
秋葉(渡辺)成子
白ゆり学級の人数には通知が行っているのでしょうか？いろいろお世話をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。

☆A: 白ゆり学級の卒業生も同窓会の正会員です。しかし、残念ながら現在は名簿不整備の点で、全員の方に連絡を差し上げられていない状態です。知っている方で同窓会からの連絡が行っていない方が

同窓会 Q&A

☆Q: 18期1組

井道(小西井)陽子
同窓生の住所録が作成されているのでしょうか？

☆A: 同窓会では名簿の作成を行っています。プラスバンド関係の人と連絡をとってみたいのですが、なかなか。同窓会に、どんなメンバーが何名位集まったのか、などの報告があれば嬉しいのですが。

☆Q: 31期10組
浦上(真島)映子
今、春日市民吹奏楽団に所属しています。プラスバンド関係の人と連絡をとってみたいのですが、なかなか。同窓会に、どんなメンバーが何名位集まったのか、などの報告があれば嬉しいのですが。

☆A: 白ゆり学級の卒業生も同窓会の正会員です。しかし、残念ながら現在は名簿不整備の点で、全員の方に連絡を差し上げられていない状態です。知っている方で同窓会からの連絡が行っていない方が

千葉人学で建築を教えるかわら事務所を主宰し建築の



市川市立第二中学校同窓会会則

平成9年11月1日改定

第1章 総則

1、本会は、市川市立第二中学校(以下市川二中と称す)同窓会と称す。  
2、本会は、市川二中同窓会員の親睦を図り、母校の発展、社会に貢献することを目的とする。  
3、本会は、本部を市川二中内に置く。

千葉県市川市須和町  
2丁目34番地1

第2章 活動

1、本会は、第1章に掲げた目的を達成するために下記の活動を行う。  
2、毎年1回の定期総会の開催。  
3、会報および会員名簿の発行。  
4、講演会、レクリエーション、その他必要と認められる事業。  
5、学校との交流。

第3章 会員

1、本会は、正、準、賛助会員をもって組織す。  
2、市川二中卒業生は、卒業と同時に全員 正会員となり、また、かつて在籍したものは、本人の希望によって正会員となりうる。  
3、現、元職員、及び卒業生の父母は、賛助会員とする。  
4、現在市川二中に在籍中の生徒は、進会員とする。  
5、会員は氏名、住所などの変更があった場合は速やかに本会に通

第4章 機構

1、本会の機構は、名誉会長、会長、副会長、顧問、総会、評議委員会、理事会、会計委員会、会計監査委員会、連絡委員会をもって構成する。  
2、各種委員会は、正会員中より選出された委員によって構成し、本会の運営に当る。  
3、名誉会長は、現学校長を推薦す。  
4、顧問は、賛助会員中より現職員、卒業生の父母、本会の発展に功勞のあつた方、若千名の理事会の承認を得て委嘱し、本会の相談相手になって戴く。  
5、会長(1名)は、会務を統括する。副会長(2名)は、会長を補佐し、また会長に事故のある場合は、これに代わる。  
6、評議委員会は、会長、副会長、正会員中よりの20名の理事および各期代表2名の評議委員により構成し、本会の会務、総会の議案の作成、仮決定、総会の運営を行う。  
7、理事会は、会長、副会長、理事により構成し、評議委員会の承認と協力に基づいて、細務を代行する。理事会の決定は、在籍理事の過半数により決定する。  
8、連絡委員は、卒業年度の各クラスより、男女1名ずつでクラスの連絡に当る。また、各期毎に2名づつを評議委員として評議委員会に送る。  
9、評議委員は本会とその代表する卒業期との連絡をはかる。  
10、会計監査委員会は、正会員中

より選出された若干名の委員により構成する。

11、総会

イ、定期総会は、原則として年一回行う。  
ロ、定期総会の招集は会長が行う。また、総会は正会員によって運営されるが、賛助、進会員はオブザーバーとして出席できる。  
ハ、総会は、最高の議決権を有し、総会の議決は多数決法による。議長、副議長は、会長が出席者の中から指名する。  
ニ、総会において、会長は各種の活動の報告を行う。  
ホ、臨時総会は、評議委員会の過半数の賛成によって招集することができる。  
12、任期  
全ての委員の任期は2年とし、再選は差し支えない。会員は、各委員会にオブザーバーとして出席できる。  
13、リコール  
委員に対して不満のある時は評議委員の4分の3、または総会の3分の2の賛成がある時リコールを行うことが出来る。

第5章 選出

1、理事の選出は原則として立候補制をとる。立候補者がないときは、前年度の評議委員会の推薦により、総会が承認する。  
2、会計委員は理事より若干名を選出する。  
3、連絡委員は、毎年卒業時に各クラスの単位に選出、卒業後は卒業年度のクラス単位に選出する。評議委員は、連絡委員の中から各期2名を選出する。  
4、会長、副会長は、正会員中より総会において選出する。会長、副会長は、理事を兼任することが出来る。  
5、会計監査委員は理事を兼ねることは出来ないが、連絡委員は他の委員を兼ねる事は差し支えない。  
6、会計監査委員の選出は、総会において行う。

第6章 会計

1、本会の会計は、会計委員が担当する。  
2、会員は会費を納入する。  
3、新入会員は、卒業の際、入金金を納入する。  
4、本会は会費、入会金、および寄付を基金として会を運営する。  
5、特別に会を開くのに必要な費用は、その都度評議委員会が決定し、出席者が納入する。  
6、本会の会計年度は、毎年4月1日より向こう1カ年間とする。  
7、総会において、会計委員は会計報告し、会計監査委員は会計監査を報告する。

第7章 附則

1、会費、入会金、その他運営に必要な細則は、会則に基づいて評議委員会が決定する。  
2、会則改正  
本会の会則改正については、総会の出席人員の過半数の賛成を得た時、改正する事が出来る。  
3、本会則は、昭和27年5月18日に承認された会則を、平成9年11月1日に改正し、同日より有効とする。

★市川二中五十年史「正誤表

次の間違いをお詫びして訂正いたします。

・P 114 「英語コンテスト」の最後の行(八期 松村恒志)を(八期 福出昭)と訂正。

・P 217 上段左から7行目(現川村)を(現河村)と訂正。

★会報の配布  
同窓会体制が未成熟でこの会報の配布も一部の方に限られ、同窓生全員には行き渡っておりません。ご了承下さい。ご希望の方は連絡頂ければお送り致します。

● 編集後記

再発足初年度活動の柱として、会員相互の交流、情報交換の場として会報を企画し、皆様のご協力ではばり定通りお届けできる事になりました。復刊第1号で、内容もやや堅苦しく、世代の偏りもあり、一人一人の息吹きをお伝え出来ないうれしさを感しております。今後、会員それぞれの特長を期待しております。  
ゼロからの出発で準備期間も短く、手作りを目指したため、お苦しく行き届かない点もあろうかと想いますが、素人がパソコンを利用しての編集です。ご容赦下さい。  
何れにしても、あまり気負わず継続する事を第一に、皆様の意見、ご批判を頂きながらより良く育てまいりたく考えております。  
内蔵 下村阿事にはパソコンの指導、印刷と大変お世話になりました。感謝しております。(山田 記)

広報委員

- 天野睦子 柿本止子 佐野純子  
安金雲澄子 林 秀明 山田尚美